



週報 第2994回

会長 藤野 修次 副会長 藤原 重行
幹事 寺田 敏也 SAA 泉谷 仁博

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
TEL 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30



泉大津ロータリークラブ

Izumiotsu Rotary Club

事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501
メールアドレス izumiotsu-rc@ioctv.zaq.ne.jp
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



今週の例会 (2018年7月27日)

■ プログラム

卓話担当 杉本 憲一 会員
講師 泉大津警察署
生活安全課 少年係
警部補 辻 和宏 様

■ 次週のプログラム

次週 8月3日のプログラム
クラブフォーラム (クラブ奉仕部門)

■ 今後の予定

8月10日 : ガバナー公式訪問

■ 祝 誕生日

なし

■ 今月のロータリーソング

それでこそロータリー

■ 先週の例会

会長の時間

藤野 修次 会長

ここ毎日36度~37度の暑い日が続いていますが、皆さんどのお過ごしですか?体に気を付けて頂きたいと思えます。



先週配布されたロータリーの友の中に、少し面白い記事が載っていましたので紹介させていただきます。題名は『スーツの掟』です。

男性のスーツの基本はスリーピース(上着、ベスト、スラックス)です。きちんとした場に行く場合は、スリーピースを着用すると良いでしょう。その場合、ベストの1番下のボタンは外します。上着のボタンは掛けなくても構いませんが、立ったら掛ける、座ったら外すことが大切です。人前で挨拶をしたり、乾杯の発生をする時にはボタンを掛けましょう。黒はフォーマルの色で、黒のスーツはビジネスでは着ません。基本は濃紺とチャコールグレーです。信頼感を求める経営者には、まず、この2色のスーツをお勧めします。ファッション系やIT系などの業種の人々は茶色のスーツでも良いですが、茶色は顔写りが悪く、老けて見えてしまう事もあり、避けた方が無難です。

スーツ姿を格好良く決めるには、上着の肩のサイズが合っているかどうかで大事で、肩の外側がつかめるようではサイズが大きいという事です。手を下した時に上着の袖からシャツの袖が15ミリ出るのがベストです。まず、シャツを買い、そのシャツに合わせたスーツを買ってください。基本的に、スーツにはボ

今月の歌

知床旅情

知床の岬に はまなすの咲く頃
思い出しておくれ 俺達のことを
飲んで騒いで 丘に登れば
はるかクナシリに 白夜は明ける

IZUMIOTSU ROTARY CLUB

第2994回

タンダウンのシャツを着ないのがルール。シンプルな白やブルーの、時代に合った襟型のシャツを着るとセンスの良さが光ります。白いシャツから白い下着が透けて見えるのはベージュの下着を着用することで解決できます。最近は入手しやすいのでご利用下さい。

スラックスの裾は靴の甲にかかるぐらいがちょうどいいと思います。靴の上にクシャクシャとる場合は丈が長すぎます。服装は、相手への敬意の表れです。外見で問われているのは、経営者としてのあり方ではないでしょうか。

■ 幹事報告 寺田 敏也 幹事

メールボックスに、ガバナー月信夏特別号と認知症フォーラム2018本人の声を届けたいのチラシが入っておりますのでご一読下さい。

■ 委員会報告

○例会終了後、親睦活動委員会を開催します(松村 泰英 親睦活動委員長)

○7月29日(日)認知症フォーラム、今年は、若年性認知症の方お二人の声が聞けますので、ぜひご参加していただいで聞いていただきたいと思えます。私も少しお話させていただきますので、よろしくお願い致します。

(川端 徹 会員)

■ ビジター

なし

■ 出席報告

会員数41名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
7/20	32名	9名	—	78.05%
7/6	34名	7名	2名	87.80%

■ メークアップ

榎本 (7/9 Rotary E-Club Sunrise of Japan)
丹農 (7/11 和泉RC)

■ ニコニコ箱

- ・櫻井さん本日卓話よろしくお願ひします(藤野)
- ・櫻井さん卓話よろしくお願ひします(寺田)
- ・櫻井さん卓話宜しくお願ひ致します(泉谷)
- ・30分もつかわりませんが、よろしくお願ひいたします(櫻井)
- ・櫻井さん卓話宜しくお願ひします(松村)
- ・櫻井さん、卓話期待してます。よろしくお願ひします(山本(博))
- ・櫻井さん、卓話よろしくお願ひします(瀧谷)
- ・欠席のお詫び(丹農)
- ・欠席のお詫び(植村)

ニコニコ箱合計	15,000円
累計	104,000円

先週のプログラム

「ふるさと納税について」



卓話担当 櫻井 善章 会員

ふるさと納税とは、個人住民税の一部を、納税者が選択する自治体に回せるようにする仕組みで、今から約10年前の2008年に始まりました。制度設立当初の目的は、ふるさと納税の名前の通り、都会生活者が生まれ故郷(要はふるさと)に住民税の1割程度を納める目的で始まりましたが、ここ数年は各自自治体で返戻品競争が激化し、全体的なふるさと納税の納付額は右方上がりに増えていますが、設立当初の目的でふるさと納税をされている方は少なくなっていると思えます。ふるさと納税は寄付をした翌年に確定申告を行い、所得税が還付され、寄付をした年の翌年の住民税が減額されます。ただし、あくまでもふるさと納税の温厚を受けられるのは所得税や住民税を納付している方で、所得(収入)に応じ2,000円を超えた額の負担をしなくていい、寄付金の限度額があり、それは各自、インターネットのサイトでシミュレーションできます。ふるさと納税はパソコンやスマホでインターネットの専門サイトで行うことが出来、自治体によりサイトや返戻品、返戻品の還元率が異なります。また、先日の西日本豪雨の被災地へも、ふるさと納税で返戻品を不要にして寄付を行うといった支援の方法もあります。